

セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク
Setagaya Volunteer Network

特集

P.2-5

『自主ようちえん ひろば 50年の歩み』
～みんなの子どもをみんなで育てる母たちのつながり～



1979年設立して間もない自主幼稚園ひろば

まちの市民力

P.6

一緒に食べるとおいしいね まほろば BASE



せたがやキラリ人

P.7

子どもの「やってみたい」を支援する 杉本 賢治 さん



おたがいさまビュー P.8-P.11 ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

特集

『自主ようちえん ひろば 50年の歩み』 ～みんなの子どもをみんなで育てる母たちのつながり～



文責／花田朋美（セボネ編集委員）
自主ようちえん「ひろば」48代現役在籍中

自主保育ひろば50周年記念イベントにて

自主保育の始まり

「1歳の子どもがいます。子どもたちを遊ばせながらお母さんの仲間づくりをしませんか」

今から半世紀前、一人の母が区報にそんな募集記事を載せたことが、現在まで続く自主保育団体『自主ようちえん ひろば』の始まりでした。今年は、50周年という節目の年。6月8日、世田谷区立保健医療福祉総合プラザにて、『自主保育ひろば50周年記念イベント』が開催されました。その日は自主保育設立当初の（ひろば）の初期メンバーから現役の人たちまで総勢70名が集まりました。

ほとんどの家庭が保育園や幼稚園に子どもを通わせるというのが当たり前だった当時の社会において、女性の多くが専業主婦であり子育てにおける公的支援も今ほどいきわたっていませんでした。保育園でも幼稚園でもないもうひとつの選択として「未就学児の子どもたちを野外で保育し、親たちが互いに預け合いをしながら小学校まで続く活

動を行う」自主保育が生まれしました。

プロに任せず

自分たちでつくる保育

そんな自主保育団体（ひろば）のさきがけとなった「あんふあんて」*では、「自主保育」について次のように述べています。

「一人の母親が自分の子だけを保育するのではなく、〈共同〉で保育するというのが思いがこめられています。保育園、幼稚園あるいは幼児教室などのプロの保育者に任せてしまうのではなく、どこまでも親が保育の主体者なのだから、さらに意識的に保育に関わろうという意味で〈自主保育〉という言葉も出てくるようになり（略）〈自分が主体となって共同で保育する〉という意味が込められている。」

1976年春、まだ世田谷に引越してきて間もない頃、あんふあんてのメンバーでもあり（ひろば）の創設者である矢郷恵子さんは、区報にて小さい子どもがいるお母さんの共同の保育仲間づく

*子どもがいる女性の解放を目指し預けあいをもとにした地域の共同保育の全国ネットワーク。「あんふあんて」の冊子『密室育児からの脱出』（1989年）

りを求めました。掲載当日は朝から30本近くの電話がかかり、集まった約15人で共同保育がスタートしました。しかし、ただ遊ばせているだけなら意味はない、とやめていく人もいたといいます。

母たちがつくる 共同保育のありかた

そんな中、まだ手探り状態だった矢郷さんは、〈ひろば〉についてこのように話しています。「自分は保育の資格も何もない世間一般のふつうの母親」であり、教育やしつけの場とは違い、生活の場として会のあり方を考えていたと言います。

1979年、矢郷さんは『都民論壇』にこのように投書されました。「子どもを並ばせて『さあこ



ひろば創設者
矢郷恵子さん



1998年
拠点地の羽根木プレーパークで遊ぶ
子どもたち

現在、会の代表を設けず上から指示を出したり責任を負ったりする人はいません。みんなで責任を分かち合いみんなで運営しています。つまり、「みんなでみんなの子どもを育てる」ということは、親たちが主体的になって、自由と同時に責任をもつてどの子どもも分け隔てなく子どもを見守るといことです。

うしなさい」と号令をかけたたり、砂いじりより楽器を弾いたり本を読んだりするほうが良い遊びだと考えたり大人の尺度で決めず、子どもたちが自分たちでやりたいことを見つけ楽しんでいきます。遊びに優劣はなく、大人が子どもの遊びを考えてしまったらそこには自由はなく、したがって遊びというものではないのでは。」

先生も管理する人もいない中で、自由に子どもたちの遊ぶ姿を見まもりながら、自分たちで保育のあり方を模索していました。

子どもが幼稚園にさしかかる年代になった頃、今度は単なる「保育」から一歩踏み込んで自主的な

「幼稚園」づくりをめざすことになりました。また、地域や社会のつながりの中で仲間と一緒に野外で子どもの預け合いをしたいという思いをもち羽根木公園で活動を始めました。

その頃、常設開催となったばかりの羽根木プレーパークを拠点からすべて話し合って決め主体的に運営する自主保育のあり方がこの時期から定着し始めました。

みんなでみんなの子どもを育てる



自主保育ひろば 50 周年イベント
元保護者（元保育者）による座談会

また、子どもたちも大人の呼び名を「〇〇さんのお母さん」ではなく、「〇〇さん」と呼びます。傍から見れば、誰と誰が親子が分からないと言われることもありま

子どもの遊びの世界を大事にし、大人は口を挟まないように努めます。もめ事やケンカがあったときも、子どもたちの様子を見守ってきました。新しい保育を考える会の『自主保育のすすめ』（2000年製作）に掲載している言葉、「ケンカしてもある程度

は見守る。子どもたちはけっこう自分たちで解決できるもの。むしろ、そうやって体験していく大事なチャンスを奪いたくはない。」これは、発足当時から変わらず、様々に葛藤しながらも現在に引き継がれています。

本音をぶつけあう話し合い

『自主保育ひろば50周年記念イベント』の座談会では、初代の（ひろば）を切り開いた世代から最近の代まで母たちや当時子どもだった卒会生たちが登壇しました。

印象的だったのは、意見や価値観が違ったときの母親同士の話し合いについてです。初めの頃から日々の活動内容や見守り方などの話し合いは随時行われ、本気で話し合ってきたといえます。「月一のミーティングで、時には意見のぶつかり合いで激しく対立して部屋に入りにくかったこともあるほどだった。」と人見香里さん（23代）。

「まだ携帯もなかった頃、日中の話し合いでは収まらず、夜に家で長時間話すこともあった。後を

ひかないくらいに話し尽くした。それですっきり爽やかになった気がする。（ひろば）が継続するために話し合いって大事なんだと思っただ。」と岡篤子さん（13代）。「親同士で子どもの運動会についてもめた際、「子どもにどうしたいかきいてみたら」という意見に驚いた。」と関戸まゆみさん（8代）。

それについて（ひろば）を卒会後も「おでかけひろば」を立ち上げ運営している司会の橋本陽子さん（35代）は、「今は子どもの声を聞くというのが全保育通じて



50周年記念イベントプレーパークで焚き火を囲んで再会を喜び（ひろば）の人たち

減っている。現代の保育を取り巻く状況の中で自主保育のやってみたいことを子どもがもっている、という気づきがあったというのはひろばの原点だと思います。」と述べられました。

さらに「座談会で話された『親も本音でぶつかり、その中で違う意見というのがあるというのをお互い認める、多様な人が身近にいてその中で共通しているのが『愛情もって見てくれている』ということ。『個』を認めていくというのはひろばの関係なのかなと思いました。」と締めくくられました。



現在の〈ひろば〉パンフレット

支え合ってきた50年のつながり

「個」を認める〈ひろば〉のあり方について、当時子どもだった渡邊純香さん(27代卒会生)は「既存のものに割りあてるのではなく子どもたちが何をやりたいか、そこからどうやっていくのかを考え、もし無いなら作ればいいじゃないという力が培われたのではないが。一方で、あまりわがままを言っていたら怒られるし、個を大切にすると同時に他の人とのやりとりや社会性も培われたようです。」と話されました。矢郷恵子さんの娘の矢郷桃さん(初代卒会生)は「〈ひろば〉やプレーパークで色んな世代の人たちと遊んでもらったり育ててもらったりしていたので、小



現在、羽根木プレーパークで遊ぶ預け合いの子どもたち

学校に入ってから大人に対してものを言うことをためらわなかった。」と言います。

5人の子どもの全員を〈ひろば〉で育てられた馬場麻田美さん(24代)は「私1人になった時にはすごく悩んだ。休会するのは簡単だけれども再開するのも大変だし、私が、ひろばをやめたら今までの〈ひろば〉の歴史がなくなる、私1人で〈ひろば〉を背負わなれないといけないと思って頑張っていたら、また復活してきて50年につながったのです。『嬉しい』と述べられました。50年の中で灯火が消えそうになった時が2度あったと言われます。それでも、歴代の先輩たちの支えがあった、こうして50年という節目を迎えることができました。

現在は、現役〈ひろば〉のメンバーは8家族います。この日、歴代〈ひろば〉の人たちが一同に集まり語り合ったことを励みに、また次世代へと新たなバトンが渡せるよう今後も〈ひろば〉のつながりを深めていきたいと願っています。

「自主ようちえん ひろば」 インスタグラム
現在ひろばの仲間を募集しています!



まちの市民力

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します。
取材・近藤 浩紀

一緒に食べるとおいしいね

まほろば BASE



桜上水5丁目都営団地の中にある「むつみ会館」から、にぎやかな声が聞こえます。毎月第3土曜日、周辺の住民を招いての「まほろば食堂」を開催している任意団体「まほろばB.A.S.E.」を取材しました。

発起人の矢尾眞理子さんと山本春菜さんは、介護職のコミュニティで知り合い、長い仲です。二人の共通点は「食べることが好き」。「みんなで一緒に食べるのって楽しいよね。何かそついうことができるといいね」と思い、2023年3月に任意団体「まほろばB.A.S.E.」を立ち上げました。これからの運営をどうしようか考えていたところ、世田谷トラス

トまちづくりの助成金を知り申請しました。自分たちの想いが届き、無事に採択され、それが団体活動の後押しになったそうです。

はじめての活動は、2023年9月に岡さんの家TOMOで開催した「蜜蛸ラップつくり」（蜜蛸を使った特殊な食品用ラップフィルム）。何回かイベントを開催しましたが、当初の二人の想いを実現させるために食事会に方向性を切り替えました。

所属コミュニティのメンバーにもいろいろ相談したところ、桜上水の自治会の方を紹介していたので、12月には、初めてむつみ会館で食事を作る会を開催。その後、団地のリーダーを紹介していたとき、一緒に食べることを目的とした食堂の形にしようというリーダーの方がご尽力されたそうです。それが「まほろば食堂」になります。

「ありがたいことに、今では多くの方が参加し食べに来てくださいます。そばにある日本大学文理学部の学生や、団地や近所の方も食事作りのお手伝いに来てくださるんです。」と感謝の気持ちが伺

えるうれしそうな二人。

参加者からは、「コロナ禍で人と会うことができなくなってさみしかった。その時にまほろばB.A.S.E.が食堂を開いてくれた。久しぶりにご近所さんと再会、一緒にご飯を食べることができて本当にうれしかったんだよ」と、みなさんも感謝していました。

「一緒に食べるとおいしいね」という言葉の背景から参加者のニーズを感じ取り、これからの活動に活かしていきたいと二人が話してくれてました。お近くの方はぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか？ どなたでも参加できます！



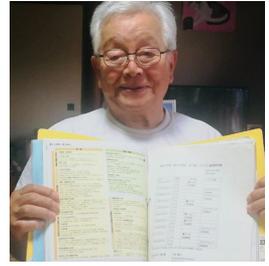
中国出身の方と本場の中国の餃子を作っている様子。異文化の食をおたがいに楽しむことができました。

<まほろば BASE >
毎月第3土曜日 9時～14時30分 他不定期開催
TEL : 090-3331-6893
e-mail : mahoroba220311@gmail.com



せたがやキラリ人

世田谷区を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたをご紹介します
取材・星野 弥生



子どもの「やってみよう」を
支援する

杉本 賢治さん
すぎもと けんじ

生まれた時から桜2丁目に住んでのいる御年88歳の杉本さん。桜丘小学校、桜丘中学校に通った根っからの地元民。大学で電気通信を学んだ後、日立製作所で仕事をします。「電子レンジを作ったんです。一台180万円もする冷蔵庫みたいに大きいものを、真空管を使って開発しました。店が閉まってからゴキブリが這い回る厨房で修理をしましたよ」という「子ナー」の黎明期。「ものづくり」が面白く、「電波」に興味を持ったことが活かされました。

会社で、技術者ではなく管理職になることを求められ、「ものづくり」の世界にいられなくなった52歳で会社を辞め、何度か転職をし、最後は下町の会社で通信機器

の営業を担当しました。「楽しい趣味のような世界にいると休む暇がなかった」杉本さん、63歳で会社生活を終え、大学の非常勤講師を勤める一方、立ち上げに関わったNPO法人「シニアSOSH世田谷」を通じて、NPO活動として桜丘小学校で電子工作とプログラミング教室を開きました。

地域で素敵な子どもたちとの出会いを続けているうちに、ある日経堂の商店街の飲み会で隣に座ったのが、「校則をなくした校長先生」桜丘中の西郷孝彦先生でした。「うちに来ませんか？」という話になり、2019年から中学で部活動支援員に。桜丘中のコンピュータ部に週二回通うことになりました。部員は約30人。ロボコンへの挑戦は桜小学校から始まり、その子たちが桜丘中学に入ると、興味のある子どもたちが後を継いでいます。

世田谷ガリレオコンテストでガリレオ賞を取った「リケジョ」は東京高専の電子工学分野でさらに技術を深めています。忘れられない

い子どもたちもいっぱい。反面「子どもの探求心や好奇心が以前よりなくなってきた」と感じます。受験第一になり、内申書を気にし、失敗を恐れるんじゃないか。学校では教育委員会が決めたソフトしか使えないという制約もあり、だんだん好きなことができにくくなっています」とも。

「教育現場で、どうでもいいことは放任していけばいいんです」ときっぱり語る杉本さんは、「世田谷区教育大綱」の存在を「こどもいのちのネットワーク」の学習会に参加して知りました。「素晴らしい大綱の魂が現実を動かす手足に伝わっているだろうか」と課題を投げかけられます。

大綱は言います。「未熟な大人」としてはくれない子どもが尊敬を持って成長し、学び、遊び、友情を育てる環境を作り、一步一步を踏み出せるように、寄り添い導く責任を負っている」のが大人である。杉本さんの実践を支えるのは、まさにこの「魂」。88歳！まだまだ現役でいてください。

千歳台福祉園の秋桜祭のボランティア募集

知的障害者の通所型・生活介護施設である世田谷区立千歳台福祉園で開催する秋桜祭（コスモまつり）のボランティアを募集します。秋桜祭では様々な催しや企画をしており、ご利用者やご家族をはじめ地域の方々に楽しんで頂けるようなお祭りを開催したいと思います。そこで催し物の手伝いをして下さる方を募集致します。利用者の方と一緒にお祭りを盛り上げてくださる方、大歓迎です。

- 日時／9月20日（土）9時30分～16時（予定）
- 場所／世田谷区立千歳台福祉園（世田谷区千歳台3-31-9）
- 交通／①小田急線千歳船橋駅から京王バス千歳烏山行き5分 廻沢（めぐりさわ）下車すぐ
②京王線千歳烏山駅から京王バス千歳船橋行き10分 千歳台2丁目下車すぐ
- 条件／謝礼あり（当日の飲食チケット）、上履きとボールペン持参
- 問合せ／社会福祉法人せたがや榎の木会 千歳台福祉園 担当 梅澤・伊能・國木
TEL：03-3789-9801 メール：chitosedai@themis.ocn.ne.jp

祖師谷のまちを知ろう！地域のおまつりスタッフをやりませんか？

6年ぶりに祖師谷地区のおまつりである「祖師谷ふるさとフェスティバル」を10月26日（日）に開催！ おまつり前日及び当日の準備、当日の案内、警備などのスタッフを募集中です。活動を通じて祖師谷のまちのことを知ってもらえると嬉しいです。右下の二次元コード（世田谷区のホームページ）から必ず詳細のご確認とお申込みをしてください。または、世田谷区ホームページの検索メニューで、ページIDの25709と入力してご確認ください。

※申込期間は7月1日（火曜日）から8月29日（金曜日）まで。

- 日時／【前日】10月25日（土）9時（集合）から正午まで
【当日】10月26日（日）7時40分（集合）から17時まで
※前日のみ、当日のみの申込みも可能です。
- 場所／ふれあい遊歩道、けやき並木通り、公社祖師谷住宅中央公園（世田谷区祖師谷2-5）
- 交通／小田急線祖師ヶ谷大蔵駅下車 徒歩約10分
- 条件／高校生以上どなたでもOK！
- 問合せ／祖師谷まちづくりセンター TEL：03-3482-2201



「フリースクール僕んち」のボランティア募集！

学校以外の、子どもの自由な学び・育ちの場。不登校を選んでいる子どもの選択肢のひとつ。自分らしく、伸び伸びと過ごせる居場所。そんなつもりで、31年間、こじんまりと運営してきたのが「NPO フリースクール僕んち」です。

「僕んち」では、常に子どもや若者と寄り添い、元気や不元気を分かち合え、一緒に何かを産み出せる人材を求めています。具体的には、ものづくり・料理・ゲーム・多様な学び・アウトドア・合宿・キャンプなどなど、多岐にわたります。資格や肩書は要りません。あなたらしい魅力で「僕んち」を手伝ってくださる方を募集しています。なお、スタッフ候補として興味をお持ち方は、採用を前提としたインターン生になっていただくこともあります。詳しくはお問合せください。

- 日時／随時
- 場所／フリースクール僕んち（世田谷区代田4-32-17 サンハイツB）
- 交通／小田急線梅ヶ丘駅、世田谷代田駅、京王井の頭線東松原駅下車 徒歩各約10分
- 条件／交通費支給
- 問合せ／NPO フリースクール僕んち 担当 タカハシ
TEL：090-3905-8124
メール：fsbttoru@yahoo.co.jp



「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

高齢・障害者デイサービスの外出援助をしていただける方を募集！

「ケアセンター with」は、世田谷ボランティア協会が運営する外出プログラムを中心としたデイサービスで、高次脳機能障害・若年性認知症など障害特性に応じたプログラムを実施しており、外出の際に車椅子を押してくれる方、利用者の方に付き添って一緒に歩いてくれる方を募集しています。外出先は、公園・美術館・ショッピングモールなど、季節に応じて外出先が変わり、どこに行くかは利用者の皆さんと決めていきます。詳細はお問合せください。ご応募お待ちしております！

- 日時／月～土曜 10時から14時ごろ
- 場所／ケアセンター with (世田谷区下馬 3-22-13 サザン三軒茶屋 1F)
- 交通／東急田園都市線・東急世田谷線 三軒茶屋駅下車徒歩約20分
- 条件／昼食支給
- 問合せ／ケアセンター with 担当 辻川 TEL：090-8452-8924
メール：tsujikawa@otagaisama.or.jp

車いす使用の男性の生活と仕事のサポート募集

重度障害者で電動車いすを使用の60代男性が、ご家族が不在の時間、自宅で身の回りの家事と仕事のサポートをしてくれる方を求めています。掃除、布団干し、資料・文献の整理などをお願いしたいです。「障害学」をはじめ、社会福祉分野の研究をおこない、大学などで講師をしている、明るく楽しい方です。

年齢・性別不問。資格不要。日時は応相談。詳細はお問い合わせください。

- 日時／応相談 ●場所／世田谷区千歳台3丁目
- 交通／小田急線千歳船橋駅または京王線千歳烏山駅
- 問合せ／砧ボランティアビューロー準備室 担当 久我 TEL：03-6411-4007
メール：kinutabora@otagaisama.or.jp

小学校3年生といっしょに勉強をしてくれる女性募集中！

駒沢公園近くにお住まいの小学校3年生の女の子が特に漢字で苦戦しています。明るい女の子です。宿題などに楽しく取り組めるよう、女の子のペースに合わせて一緒に勉強をしてくれる方、ご連絡お待ちしております。詳細はお問い合わせください。

- 日時／月・火・木・金の16時～17時(月2～4回 1回1時間)
- 場所／駒沢公園近くの自宅
- 交通／東急田園都市線駒沢大学駅 ●条件／女性(数名募集)、交通費応相談
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528
メール：tamabora@otagaisama.or.jp

散歩の付き添いボランティア募集

弦巻の高齢者施設に入所されている女性が、一緒に散歩してくださる方を募集しています。普段の生活はお部屋の中で静かにテレビを観て過ごすことが多く寂しい想いをしており、足腰が悪いため、外出時は車いすを押して一緒に散歩をしてほしいです。また、雨の日は館内にあるカフェで楽しくお話ししていただきたいです。とても明るく元気な方です。ぜひ、この女性に寄り添ってくれる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／応相談
- 場所／特別養護老人ホーム弦巻の家(世田谷区弦巻 5-34-5)
- 交通／東急田園都市線「桜新町駅」より徒歩12分、東急バス「覆馬場」停留所より徒歩1分、東急バス「農大前」停留所より徒歩6分
- 条件／女性
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 小畑 TEL：03-5712-5101
メール：obata@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は6月14日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

7/5 (土) ボランティアセミナー&相談会 (第2部でボランティア懇親会も開催)

「ボランティアをはじめの第一歩が踏み出せない」「ボランティアの手を借りたいがどのように募集すればいいかわからない」といった悩みをお持ちの皆様を対象に「ボランティアセミナー&相談会」を開催します！ また、第2部としてボランティアに関心のある方向士が気軽に交流することのできる「ボラビンのボラコン」(ボランティア懇親会)も開催します！ 右下の二次元コード(世田谷区のホームページ)から必ず詳細のご確認とお申込みをしてください。(電話でもお申込み可)または、世田谷区ホームページの検索メニューで、ページIDの17751と入力してご確認ください。 ※申込期間は7月4日(金曜日)まで。

<内容>

【第1部】ボランティアセミナー&相談会

- ①講演:「私だからできること」を発見! ~等身大のボランティア体験で自分とまちを豊かに~
講師:李妍焱(リヤンヤン)氏(駒澤大学文学部教授)
- ②ボランティアのはじめ方、マッチングサイトの紹介
- ③ボランティア相談及び来場者間マッチング

【第2部】ボラビンのボラコン(ボランティア懇親会)

- 日時/7月5日(土)【第1部】16時~17時30分
【第2部】17時30分~19時30分
- 場所/成城ホール(砧区民会館)集会室C・D(世田谷区成城6-2-1)
- 交通/小田急線成城学園前駅下車北口より徒歩3分
- 参加費/【第1部】無料【第2部】2,000円
- 問合せ&申込/世田谷区生活文化政策部市民活動推進課 担当 工藤
TEL:03-6304-3174



7/12 (土) 子育て家庭・不登校に寄り添う訪問ワーカー養成講座開催

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカー(ケアワーカー/ユースワーカー)として世田谷区で活動していただける方向けの養成講座を開催します。本講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題(児童虐待、不登校、いじめ、非行など)や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。講座の中では、訪問ワーカーの活動事例についても詳しく説明しますので、活動について知りたい・活動してみたいという方もご参加ください。

- 日時/7月12日(土)13時30分~16時30分(開場13時15分)
- 場所/喜多見地区会館2F(世田谷区喜多見8-23-23)
- 交通/小田急線喜多見駅下車徒歩約3分
- 参加費/一般1,000円/学生500円
- 問合せ&申込/NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 波多野
TEL:03-5727-2133

7/18 (金) 子育て支援講座+ホームスタートぷちぷち説明会 参加者募集!

子育て経験を活かして、地域の子どもや子育て家庭を元気にするお手伝いをしませんか? 「ホームスタートぷちぷち」は、乳幼児がいるご家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者がボランティアとして訪問する「家庭訪問型子育て支援」です。その訪問ボランティアとして活躍していただける方の養成講座(9月開講)にあたり、説明会を開催します。資格や子育て支援の経験は問いません。興味・関心のある方のご参加をお待ちしています。

- 日時/7月18日(金)10時~12時
- 場所/せたがや子育てネット研修室(世田谷区経堂2丁目)
- 交通/小田急線経堂駅下車徒歩約5分
- 問合せ/ホームスタートぷちぷち/NPO法人せたがや子育てネット
TEL:03-6796-3939
メール:petit@setagaya-kosodate.net



「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

もっと語ろう不登校 part.302

これまで31年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかつたんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時／7月5日(土) 14時～
- 場所／人の泉・オープンスペース”Bel!”(世田谷区赤堤1-15-13)、またはZOOM会議
- 交通／小田急線豪徳寺駅徒歩6分
- 問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤
TEL: 090-9248-1355 メール: yurinoki11513@gmail.com

市民活動・NPO相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。(原則として事前予約制です)

- 問合せ／最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。
電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101
メール: v-soudan@otagaisama.or.jp

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦勞をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重していきます。お気軽にご相談ください。

- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101
メール: v-soudan@otagaisama.or.jp

AIシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステムによるマッチングサイト(世田谷版GBER「ジーバー」)で結び付け、経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



上記掲載記事は6月14日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】
災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】
リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】
訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】
介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】
障害について ▶ 【ぼーとせたがや、スペース ココカラ。】

協会職員大募集/
作業療法士 訪問介護員
支援員 相談員

※寄付は任意参加

ご寄付のお願い

- クレジットカード
- Amazon Pay
- 銀行振込

お支払い方法が
選べます。

寄付金控除を受けられます



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。